



令和元年度

茨城県優良図書

高校生・勤労青少年向け

※金額は全て税抜き表示です。

『ブロードキャスト』

湊かなえ 著



(KADOKAWA) 1,500円
高校でも陸上部で全国大会を目指すつもりだった町田圭祐は、合格発表の日に事故に遭い、走る事が出来なくなってしまう。しかし、落ち込む圭祐の「声」に惚れ込んだ宮本正也と、思いもよらない部活で全国大会を目指すことになる。

『疾風の女子マネ！』

まはら三桃 著



(小学館) 1,400円
「いい男狙い」で陸上部に入部した女子高生、湯田咲良。400mリレーでインターハイ出場を目指す6人の男子部員と新米女子マネの物語。いくつもの壁を乗り越え全員でゴールを目指す、短距離の面白さが詰まった一冊。

『この川のむこうに君がいる』

濱野京子 著



(理論社) 1,400円
東日本大震災で被災した二人の高校生、梨乃と遼。「被災者」を背負う他人同士の二人が吹奏楽部で出会う。同じ境遇にありながら対照的な2人が、音楽を通して出口を模索する。深い心の傷が癒える日はくるのだろうか。

『刑務所しか居場所がない人たち』

山本譲司 著



(大月書店) 1,500円
福祉施設と化した刑務所の実態。筆者自ら受刑者として服役する中、目の当たりにした「イメージ」とはかけ離れた現実にショックを受ける。普段知ることのない世界を知り、社会の在り方について考えるには最適である。

『風に恋う』

額賀濤 著



(文藝春秋) 1,600円
全国コンクールに行きたい。高校でも吹奏楽部に入ることになった茶園基は、1年生ながら憧れの人のために部長を引き受け、部活を立て直すことになった。悩んでも、もがいても、自分を信じて前を向き続ける姿に涙がこぼれる青春小説。

『ひと』

小野寺史宜 著



(祥伝社) 1,500円
両親を相次いで亡くした柏木聖輔。経済的な理由から大学も中退し途方に暮れていた彼に、田野倉惣菜店の親父さんが声をかけてくれ、その縁で亡き父と同じ調理師を目指す始める聖輔。血のつながりのない「ひと」からの親切に心温まり、人との関わり方を改めて考えさせられる一冊。

このチラシに掲載された図書は、原則として、平成30年4月1日以降平成31年3月31日までに出版された図書で、図書館司書、読書団体、出版社等から推薦のあったものの中から「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」の規定に基づいて推奨したものです。

図書を選ぶ際の参考として御活用いただければ幸いです。

○お問い合わせ先

茨城県保健福祉部子ども政策局青少年家庭課 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL 029-301-2183